

- 1 教育目標 「明るく 楽しく たくましく」 未来を創造する 生きる力をもった子どもの育成
スローガン - 笑いあい 支えあい 学びあい あい・東小 -

2 本年度重点目標

(1) 確かな学力と豊かな心の育成	子どもの学力向上や可能性を伸ばすための教育の実践と、温かい人間関係を育てる学校づくりを推進する。
(2) 家庭・地域とともにある学校づくり	学校・家庭・地域の交流や信頼感を大切にしながら、豊かな心や創造性を育成する特色ある学校づくりに努める。
(3) 安心・安全な学校づくり	子どもたちがいきいきと活動でき、心と体が安心・安全な学校づくりを推進する。
(4) 心身の健康と体力向上	運動習慣の確立を目指し、体育的活動を充実し、心身の健康と体力向上を推進する。
(5) 働き方改革による教育力の向上	業務改善やワークライフバランスを推進し、効率よく働きやすい職場づくりに取り組み、教職員の指導力、教育力を高める。

3 めざす姿

(1) めざす学校の姿

○明るく楽しい学校	子どもや教職員が温かい人間関係でつながり、めあてに向かって努力する学校
○伸びる学校	子どもも教職員も探求心に満ちた中で、生き生きと活動する学校
○安全・安心な学校	命の尊さ・安全教育の指導と管理を徹底し、事故ゼロを目指す学校
○開かれた学校	情報発信・説明責任を果たし、家庭や地域と信頼・和で結ばれている学校
○美しい学校	隅々まで美しく整備・整頓された環境の中で、豊かな情操を育む学校

(2) めざす子どもの姿

あ かるく 自分から あいさつする子	自ら あいさつしようとする子ども
い つも 思いやりの心で なかよくする子	思いやりの心をもって、力を合わせる子ども
ひ とみかがやかせ 体をきたえる子	意欲的に体力を高めようとする子ども
が くしゅうすることを 楽しむ子	学ぶことを楽しいと感じる子ども
し っかり 考えて 行動する子	よく考えて、正しく行動する子ども

(3) めざす教職員の姿

○子どもたちに、愛情と優しさで使命感をもって接する教職員
○心身ともに健康で、互いに支え合い、協働する教職員
○正しい教育観をもち、子どもたちや保護者から信頼される教職員
○学識豊かで、社会人としての良識があり、指導力の優れた教職員
○常に研究課題や目標をもち、自主的に自己研鑽に励む教職員

4 努力目標と達成に向けた取組

(1) 学習指導の工夫改善と充実

- 学習指導要領に則り、主体的で対話的な学びを実践し、学力向上を図る。
- G I G Aスクール構想の推進により、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。
- 基礎的・基本的な内容の確実な習得に力を入れ、一人一人の子どもたちが学ぶ喜びを味わうことができる学習を進める。
- 教材研究を充実し、子どもの発達段階や実態に応じた指導計画を作成し、子どもが意欲的に取り組む授業を創造する。
- 言語活動を充実させ、全ての授業で言語力の育成に取り組む。

(2) 生徒指導の徹底

- 深く受容的な児童理解を生徒指導の基盤とし、児童の意志を尊重して生徒指導を進める。
- 教職員と子ども、子どもと子ども、教職員と保護者との温かい人間関係を構築し、信頼感や共感的理解に基づいた生徒指導を推進する。
- 家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。
- 生徒指導体制を確立し、全ての教職員が子どもたちの日常生活に目を配り、全児童を全教職員で協力して指導・支援する。

<p>(3) 人権教育の一層の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめの根絶と不登校・不適應児童への対応を図り、学校内の全ての人々が安心して生活できるようにする。 ○教育活動全体を通じて計画的に進め、自他の人権を尊重する実践的態度を身につけた子どもを育てる。 ○同和問題を人権教育の重要な柱に据えて学習を行うとともに、様々な個人権課題にも子どもの発達段階に合わせて取り組む。 ○日常生活における小さな人権問題も見逃さない人権感覚を養うとともに、家庭や地域の理解・協力を得て、家族ぐるみ、地域ぐるみの人権教育を推進する。 ○人権問題を教職員自らの問題としてとらえ、人権教育の推進を図る。特に、同和問題についての理解を深め、差別意識解消に努める。
<p>(4) 道徳教育の強化と徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分ならどうするか」を正面から問い、多面的に物事を考えて議論する道徳の授業を行う。 ○各学年で児童の実態に合った指導計画を作成し、計画的に取り組む。 ○地域との交流・体験活動等を通して、道徳的实践力を育てる。
<p>(5) 健康・安全教育の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の計画的な実施により、進んで健康管理・体力づくりのできる児童の育成に努める。 ○安全に対する意識を高揚し、自らの命や安全は自分で守ることのできる子どもの育成を図る。 ○施設・設備の安全点検を計画的に実施し、安全管理の徹底を図る。 ○様々な災害に対する避難訓練等を実施し、危機回避能力の育成に努める。 ○防災計画の周知徹底を図り、不測の事態に対する積極的な備えを進める。 ○基本的生活週間の確立を図るため、「早寝早起き朝ご飯」が実践できる子どもを育成する
<p>(6) 特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポジティブ行動支援（P B S）の考え方をもとに、児童一人一人が自尊感情を高め、個性を発揮できるような教育活動を推進する。 ○特別支援教育校内委員会を開催しコーディネーターを中心に校内研修を行うなど学校全体で取り組む。 ○特別支援学級では個別の指導計画・支援計画を作成し、保護者と連携しながら将来を見通した指導を行い、将来の就学指導や就労保障につなげる。
<p>(7) 伝統文化・外国語教育・情報教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○藍や史跡など郷土の伝統文化を尊重するとともに、異なる外国文化の理解に努める子どもの育成を図る。 ○英語教育を通じ、楽しみながら英語に親しむとともに、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。 ○タブレット端末を活用し、ICT 活用能力を高めたり、プログラミング学習を積極的に行ったりし、情報の収集・選択・活用能力、情報モラル、情報リテラシー、プログラミング的思考の育成を図る。
<p>(8) 環境教育・福祉教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGs の理念に則り、「とくしまGXスクール」として、身近な体験活動を通して、人間と環境との関わりについて認識を深め、豊かな感受性を育てるとともに、環境の保護や改善のための実践力を育てる。 ○思いやりの心を育て、感謝の気持ちをもって行動できる児童を育てる。
<p>(9) 食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「早寝早起き朝ごはん」運動を進め、食育について正しい理解と望ましい習慣を養う。 ○地産地消など食育の学習を生かして、給食の時間を楽しく感謝して食べる実践的学びの場とする。 ○様々な教科等に関連させ、学校の教育活動全体で食育を推進する。 ○食育を日常生活で実践していくために、学校での指導と一体となった家庭や地域での取組ができるよう啓発及び情報発信をする。
<p>(10) 校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究授業や公開授業を積み重ねて研究を深め子どもの心を打つ教師の個性を生かした授業を創造する。 ○実地研修や幅広い教養を身に付けるための研修、メンター制研修等、校内研修を充実させることで、教師としての資質能力を高める。 ○研修に積極的に取り組み、幅広い視野と教養を身に付ける。
<p>(11) キャリア教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未来に夢や希望を持ち、自主的に考え、自立的に判断し、創意工夫しながら主体的によりよく生きようとする態度を養う。 ○「かかわる力」「みつめる力」「すすむ力」「えがく力」を育成し、将来において社会人・職業人として自立することができる力を育成する。
<p>【お願い】私たち教職員は、ご家族の中の本当に大切な子どもの命と体をお預かりしており、私たちの言動や教育実践は子どもの人生や今後の運命さえも大きく左右することがあります。かけがえのない大切な子どもであることを心に留めて、やさしく温かく、教え導いてくださいますよう、よろしくお願いします。</p>